

あぷろうち

~ approach ~



日本労働組合総連合会
群馬県連合会 (連合群馬)

発行人 清村宗一

編集人 中川文蔵

〒379-2166

群馬県前橋市野中町361番地の2
(群馬県勤労福祉センター2F)

2002年6月号

NO.123

TEL.027-263-0555(代)

FAX.027-261-0549

Eメール rengo-gunma@mtg.biglobe.ne.jp



連合群馬第1次海外視察団(団員21名)は、佐藤副会長を団長に5月26日から6月1日まで、6泊7日の日程で中国を訪問しました。

4000年の歴史が流れる中で、近代化の波が押し寄せる・北京、シルクロードの出発地にあたる古都・西安、名勝・桂林、経済都市・上海、中国を代表する4つの都市を視察し、『発展していく中国』と『歴史を大切にす中国』を垣間見ることができました。



特に、2008年にオリンピックを控えた北京と、その北京までリニアモーターカーを走らせる計画がある上海は、既に日本に迫り、追い越す勢いで発展しています。しかし、1000km離れただけの西安は、古都と言われるように歴史を重んじ、まるでタイムマシンに乗っているような感じでした。

上海では、日中合併会社「上海日立有限公司」を見学させていただき、日本企業の海外進出の現状やこれまでの苦労話を現地の従業員の方から説明いただき、労働者の賃金や勤務体制について意見交換を行いました。

第1回の記念すべき視察団員の皆さんが中国の歴史と現在の経済成長に対する見識を深めたとともに産別の枠を超えた交流を図れたことは、団員一人ひとりの今後の活動の前進に反映できるものと確信します。

そして、7日間も続いた『中華料理』を毎日すべてたいたらげたいタリティー(食欲)にバンザイ!

ニーハオ
你好!

連合群馬第1次 海外視察団報告



悠久の歴史と自然を残す中国



発展を続ける中国



ワンポイント



連合群馬は、国際交流活動の中で、中国・無錫市総工会との交流を通じて、日中両国民の友好に貢献してきました。

そして、これまでの15次にわたる訪中団派遣の総括と社会情勢の変化に対応するため、国際交流のあり方を検討し、執行部を中心とした無錫市総工会との交流団(2月に派遣:第120号に掲載)と単相役員等を中心とした海外視察団(5月に派遣:本号掲載)を派遣することとしました。